

事例2 生活介護事業所に通うBさんの事例

<p>本人の希望</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の人生は自分で決めたい。できれば大学に行って、いろいろな人と人間関係を深めていきたい。 自立できる姿を見せて、両親に認めてもらい、一人暮らしをしたい。 作業などできることは行い、いずれ仕事に就いて、家庭をもつ暮らしを実現したい。 	<p>家族の希望</p> <ul style="list-style-type: none"> 両親としては、自分たちが元気なうちは一緒に生活ができるが、親がともに倒れたとき、一人で生活ができるか心配している。 将来、本人が好きなパソコンを使用して、就労につながる生活ができれば理想だが、今の本人の身体の状態や生活の様子では難しいと思っている。親亡き後に備えて、短期入所の利用を勧め、施設に入ることが本人の安心できる生活になると考えている。 今は、生活介護を安定して利用することで、本人なりの生活リズムを確立してほしい。 人とのコミュニケーションが苦手なため、対人コミュニケーション力をつけて、精神的に自立してほしい。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<アセスメント>

気になるポイント	なぜだろう？（情報の解釈）	関連付け	統合化	課題 （解決が必要となる状況→解決するために必要なこと）	優先順位
①通所を休みたいという連絡が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 自宅ではパソコンを使って自伝を執筆している。 日中活動の内容に興味を感じていないのではないか。 	① ②	興味のあることは積極的に話しかけることがあるが、対人関係に緊張があり、慣れた人でないと意思をうまく伝えることができず、事業所内で話せる人がいない。また、日中活動の内容が本人の興味のあるものとは結びついておらず、活動への意欲がわからないのではないか。また、突発的な大きな音が苦手であることも日中活動への集中をすぐ要因となり、一人でテーブルに伏せていることが多いと考えられる。	対人関係の緊張と日中活動への不満から、事業所内で孤立し、活動意欲が低下しているため、事業所内での人間関係づくりや本人の興味のある活動を行うことで、日中活動を充実させる必要がある。	1
②通所してきても日中活動中、一人でテーブルに伏せている姿が目立つ。	<ul style="list-style-type: none"> 対人関係に緊張があり、慣れた人でないと意思をうまく伝えられない。 突発的な大きな音が苦手で、何か音がすると不安になる。 				
③食事、排泄、入浴、衣服の着脱等、生活行為全般による介助が必要である。股関節に痛みがあるときは全面的に介助が必要になる。	<ul style="list-style-type: none"> 四肢麻痺がある。 指先がうまく使えない。 股関節が痛くなることもある。 	③ ④	四肢麻痺があり、特に指先をうまく使うことができないため、食事、排泄、入浴、衣服の着脱等、生活行為全般に介助者による介助が必要である。身体動作に制限がかかるなか、自分でできる姿を見せて両親に認めてもらいたい気持ちがあり、無理な動作で頑張りすぎている。その影響により、股関節に痛みが出ていることが考えられる。	四肢麻痺による身体制限と、両親に認められたいという思いからの無理な動作で股関節に痛みが生じているため、身体に負担をかけずにできる動作を増やし、介助を必要とする部分を明確にすることで、安全かつ自立した生活を送る必要がある。	3
④無理な動作で頑張りすぎている。	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできる姿を見せて、両親に認めてもらいたいという気持ちをもっている。 				
⑤職員に不満をぶつけることがある。	<ul style="list-style-type: none"> 将来、仕事をして一人暮らしをしたいという気持ちがあるが、両親から難しいと伝えられている。 自分の考えを主張するよりも周囲の考えに影響されやすい。 同年代の大学生と自分のおかれている環境との違いに悩んでいる。 	⑤	将来、仕事をして一人暮らしをしたいという気持ちがあるが、両親からは理解してもらえていない。自分の考えを主張するよりも周囲の影響を受けやすいこともあり、自身の希望と現実のギャップにストレスを感じていることで、職員に不満をぶつけていることが考えられる。	将来に対する希望と両親の考えに乖離があり、ストレスを抱えているため、自分の考えを主張することができるようになり、両親としっかり話をすることで、本人が納得した現実的な将来の目標を見出すことができる必要がある。	2